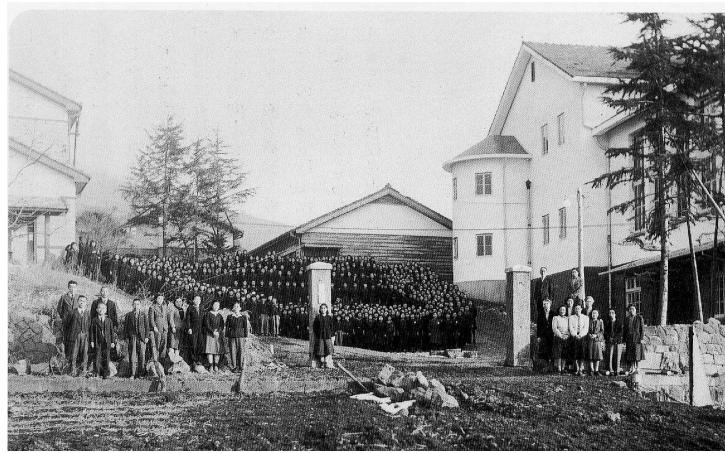
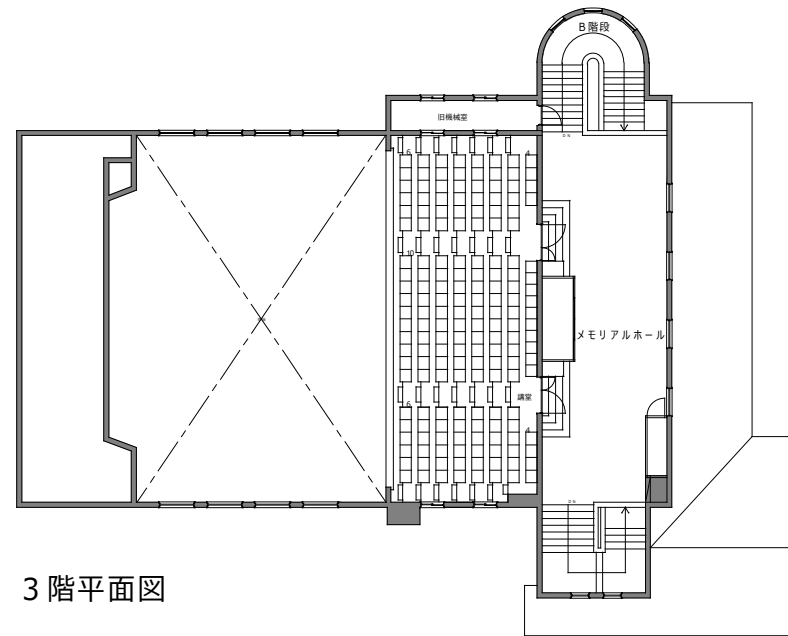
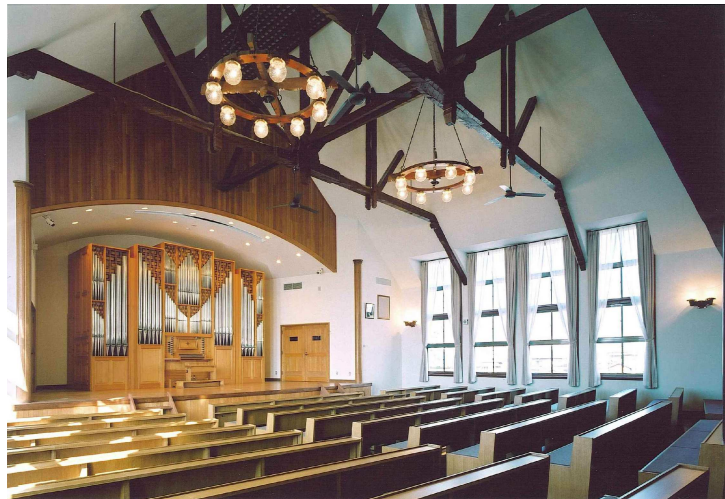
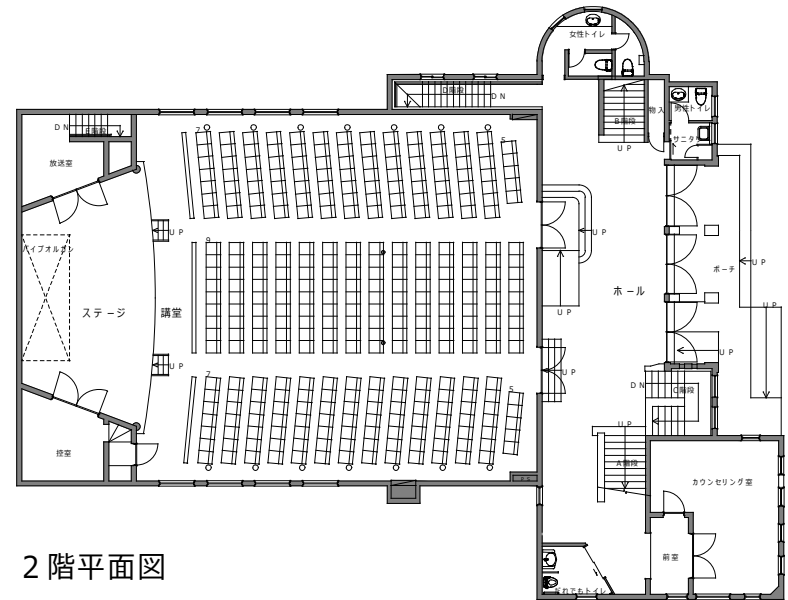




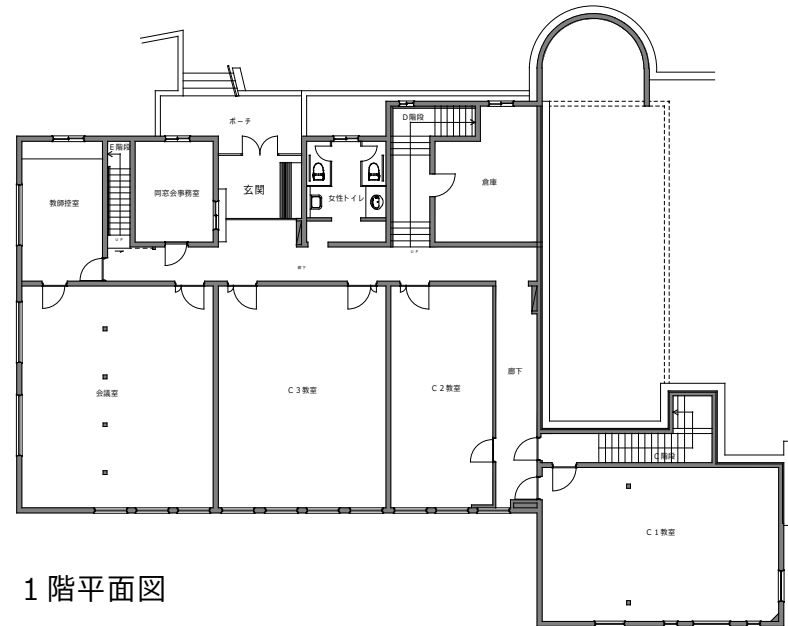
竣工時 写真提供 山梨英和学院



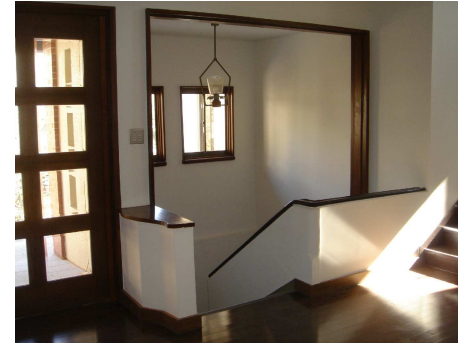
3 階平面図



2 階平面図



1 階平面図



## 建築作品部門

## 建築物の保存問題全般

## 山梨英和中学校・高等学校 講堂

# グリーンバンクチャペル

山梨英和学院が 1889 年に設立されて 56 年目の 1945 年に甲府大空襲で焼失、それが 1949 年に再建され、その 56 年後に耐震補強復元改修工事を行うという 56 年の奇縁を感じます。

建設当時、戦後物資の不足は建築資材も例外でなく調達は困難であったと推測されます。内装解体時、それを裏付けるように木材の使い回しの痕跡や、カナダの教会からの資材提供を示す鋼材、インチサイズの金物などが見られました。

講堂は三層からなり、1 階は煉瓦積と鉄筋コンクリート造の教室、2・3 階は木造で講堂・ホールで、高さは 9.65m、床面積は 1,041m<sup>2</sup>、設計者は山梨県出身の内藤多伸先生と伝えられています。二間飛びの水平火打梁やトラス梁の転び留め、種々の筋違の多さ、金物固定など様々な構造に対する配慮が見られました。

今回の工事により耐震化だけでなく、太陽熱で温められた空気を講堂の床下・1 階天井裏に送ることで両室の温熱環境の平準化を図り空間に配慮した空調はもちろんの事、照明器具・家具・掛け時計等もデザインしました。



応募代表者：長田 孝三

株式会社 イズ

1975 年 千葉大学工学部建築学科卒業

(株)高野重文建築事務所へ入所

1980 年 山梨県甲府市へ帰郷、  
長田孝三級建築士事務所開設

1990 年 株式会社イズへ改組

甲府に帰って事務所を開設したのは、これまで学んだ事柄を、ふるさと山梨のために生かしたい、人々の身近にいて、市民と共にある建築家として、まちづくりや、皆が望んでいる使いやすく、美しい建築をつくりたいとの思いからでした。

事務所開設後、35 年、その思いは今も変わらず、イズの大切な基本姿勢になっています。